

「令和4年度第2回木更津市算数・数学検定」についての分析

1

級

間違いが多かった問題と分析

- ① 計算が多いため、ミスが多く見られた。
- ① (5) 誤答が多く見られた。問題文に x 、 $3x$ と2つの x が入っていたこと、 x の連立方程式の変換ができていなかったと考えられる。
- ③ (1) 円周角の定理を用いることができたが、平行線の性質に目をつけることができなかった。また、円の弦における平行線と弧の関係へ考えを拡張できるとよい。

傾向と対策（学習していくうえでのアドバイス）

単元を横断して考える力をつけていけるとよいと感じました。

例えば①(5)では連立と二次方程式、①(4)展開、因数分解と平方根など複数の単元で考えなければならない問題が多いです。

1つの考えでなく多角的・多面的に見られるとよいと思いました。

中間レベルの問題を多く解き、数学的な技法を学べるとよいでしょう。

複雑に見えても、基本の計算や置き換えを上手に利用することで、スッキリした形となります。まずは問題の全体像を見て解法の道筋を決めて解けるとよいと思います。